2026 年度入社式　社長訓示

【東北電力　石山社長】

１．はじめに

２．東北電力グループについて

３．新入社員の皆さんに伝えたいこと

＜失敗を恐れずに前向きに挑戦してほしい＞

＜地域から信頼される社員になってほしい＞

４．むすび

2026 年 4 月 1 日（水）13：00～

本店 大会議室

１．はじめに

新入社員の皆さん，このたびの入社，誠におめでとうございます。

社会人としての新たな一歩を踏み出し，新しい環境への不安や戸惑いなどを感じているかと思いますが，役員・社員一同，皆さんの入社を心から歓迎しています。

私からは，東北電力グループの現状などに触れながら，皆さんにお願いすること，期待することについて，お話しします。

２．東北電力グループについて

はじめに，東北電力グループについてです。

東北電力は１９５１年に誕生し，今年で創立７５年を迎えますが，「東北の繁栄なくして当社の発展なし」という考えのもと，これまで長きにわたり，社会生活に欠かせない電気を安定的かつ経済的に作り，お客さまに送り届けてきました。

これは，東北電力グループの使命であり，今も私たちに脈々と受け継がれています。

また，東北電力グループの経営理念である「地域社会との共栄」，そして，グループスローガンである「より、そう、ちから。」は，私たちにとって大切な，不変の概念，存在意義であり，これからも変わることはありません。

皆さんは，東北電力と東北電力ネットワークの社員として様々な職場に配属されますが，ともに力を合わせ，この大切な使命を果たしていただきたいと思います。

さて，東北電力グループでは，中長期ビジョン実現に向けた経営展開「よりそう next $^{+PLUS}$」に基づき，電気・エネルギーを中心に据えた事業展開を通じ，利益・投資・成長の好循環を形成して，将来の「ありたい姿」である，「お客さまが，快適・安全・安心なくらしを実感できるスマート社会」の実現を目指していくこととしています。

東北・新潟地域は，人口・世帯数の減少が今後進んでいくと想定され，電力市場の自由化により事業者間の競争も激化していますが，その一方で生成ＡＩやＩｏＴ技術などＤＸの進展により，データセンターや次世代型半導体工場などの立地が進み，電力需要が増大していく

見通しが出てきており，真に大きなビジネスチャンスの到来が期待されます。

これからは，お客さまが求める電気・エネルギーを安定的に供給するのはもちろんのこと，環境価値や省エネ，電気設備の保守など新しい付加価値サービスを提供して利益を創造していくことが，事業展開の基本になります。

電気の販売は，お客さまへの小売という形だけではありません。発電部門から他の小売事業者向けの卸売という形もありますし，東北電力ネットワークが的確な系統接続を通じて企業誘致等に貢献することは，東北・新潟地域におけるエリア需要の創出や託送料金収入の増加につながります。皆さんは，これから様々な職場に配属されるわけですが，部門や所属に関係なく，東北電力グループが扱う電気を，より多くのお客さまにお届けしていくことが会社の成長に繋がるという意識を持っていただきたいと思います。

そして，これからの，変化が激しく，不透明感の強い事業環境の中で，更なる成長を実現していくためには，お客さまに当社グループを選択していただく努力が必要です。そのため，お客さま起点でニーズを把握し，自社の強みを徹底的に磨きながら，魅力的な商品メニューやサービスを提案できるよう，組織や部門を超えた総合力の発揮にも注力していただきたいと思います。

３．新入社員の皆さんに伝えたいこと

さて，これまでの話を踏まえ，ここからは，皆さんに特に実践してほしいことを２点お話しします。

１点目は，「失敗を恐れずに前向きに挑戦してほしい」ということです。

先ほども申し上げたように，これからも東北電力グループが地域とともに発展・成長していくためには，電力の安定供給という使命をしっかりと果たしながら，「新たな価値」を創り上げていかなければなりません。

そのため，社員一人ひとりには，好奇心を強く持ち，挑戦し続ける姿勢が求められます。「新入社員の自分には難しい」と感じるかもしれませんが，決してそんなこと

はありません。皆さんのフレッシュな視点や感覚が，これまで私たちが気づけなかった「新たな価値」の創造につながる可能性は大いにあります。

皆さんにとっては，職場で見るもの，聞くこと全てが初めてになりますが，色々なことに関心を持ち，疑問に感じたことや，もっと良くなると気づいたことは，臆せずに提案，実践する姿勢を持ち続けてください。

「新しい価値」は，挑戦と失敗を繰り返し，必死に試行錯誤した先にこそあります。初めは小さなことからでも構いません。挑戦する気持ちを忘れずに日々の業務に取り組んでください。

また，皆さんがこれから配属になる職場には，頼りになる上司や先輩方が待っています。そして，当社グループには，「気づく・話す・直す」という共通の安全保安方針があります。皆さんが，「謙虚さ」や「感謝」の気持ちを持ちながら，自分の考えを伝えれば，必ずや，その想いを受け止めて，力になってくれるはずです。

皆さんの挑戦が，東北電力グループの成長と発展の強力な原動力となることを期待しています。

２点目は，「地域・社会から信頼される社員になってほしい」ということです。

昔話になりますが，今から１５年前の東日本大震災当時，私は，東京電力福島第一原子力発電所から直線距離で２５ｋｍほど離れた福島県南相馬市にあった相双営業所の所長でした。

その時には，営業所の所員とともに，地震と津波による被害で大変な状況となる中で，設備の復旧や停電の解消などに取り組みましたが，現地で原子力災害の凄まじさと怖さを実感するだけでなく，我々を信頼して避難せずに様々な支援・協力をいただいた地元の商工会などの皆さまの存在に感謝し，長い年月をかけて諸先輩が築き上げてきた「地域との絆」の重要性についても再認識をさせられました。

人口減少，少子高齢化，過疎化が進展していく中で，東北電力グループは，これからも地域社会の課題に対して，しっかりと向き合い，地域やお客さまとともに，成長していくことを目指しています。

当社グループは，地域の皆さまから「困ったときに相談され，頼りにされる存在」であり続けることが必要です。

これから皆さんが業務を行っていくに従い，サービスの提案，電気設備の改修，エネルギーへの理解活動など，地域の方々との様々な接点が生まれてくるはずです。その際には，ぜひ相手の声にしっかりと耳を傾けてほしいと思います。そして，お客さまや地域にとって，「いま何が必要なのか」自分なりによく考え，当社としてできること，自分ができることに全力で取り組んでいただきたいと思います。

このような地道な行動の積み重ねにより，社員一人ひとりが「頼りにされる存在」となり，ひいては当社グループへの厚い信頼，そして当社グループがお客さまに選択して頂けることにつながります。

４．むすび

最後になりますが，東北電力および東北電力ネットワークでは，社員全員が心掛ける目標として，毎年，モットーを掲げており，今年は，「プロの誇りと自覚を胸に，信頼獲得そして成長実現」としています。

そこには，社員一人ひとりが電力のプロであるという誇りと自覚を持って業務に取り組むことで，地域からの信頼に繋がり，その一体感が大きな力となり，グループ全体の収益力の向上，そして将来の成長に結びついていく，という想いが込められています。

皆さんも，今日から当社グループの一員ですので，「電力のプロになる」という高い志と熱意を持ちながら，社会人としての人生を歩んでください。

あらためて入社おめでとうございます。皆さんが持つ無限大の可能性と，これからの活躍に大いに期待し，私からの訓示といたします。

以　上